

# 題材名 「わたしのランプシェード」

第6学年 「A 表現」(1)イ(2)イ、「B 鑑賞」(1)ア、〔共通事項〕(1)アイ

## ◆本実践の概要

自宅の一室を思い描いた雰囲気のある場所にするため、光の性質を利用して、自分だけのランプシェードをつくる題材。児童が自身の力で学びのサイクルを回すことができるように「材料コーナー」や「ミニ暗室」を用意するなど、環境づくりに力を入れた。1人1台端末を活用し、製作の途中で困った時には「ヒント動画」を視聴できるようにしたり、製作の過程を写真で記録して「デジタルポートフォリオ」を作成し、自身の活動を振り返るきっかけをつくったりした。また完成した作品は家に持ち帰らせ、実際に部屋に置いてみて、その様子を1人1台端末で撮影してくる宿題を出した。家族から前向きなコメントをもらい、児童は自信をつけていた。

## 1 題材の目標

### (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・和紙などの材料を使ってランプシェードをつくる時の感覚や行為を通して、バランスや色の鮮やかさ、和紙を通したライトの明るさなどを理解する。
- ・表現方法に応じて前学年までの材料や用具の経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして目的に合わせて表し方を工夫して表す。

### (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・自宅の一室を思い描いた雰囲気のある場所にするという目的のもとに、明かりを灯して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。
- ・明かりを灯すなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。

### (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・自宅の一室を思い描いた雰囲気のある場所にするため、主体的にランプシェードをつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

## 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b>和紙などの材料を使ってランプシェードをつくる時の感覚や行為を通して、形やバランス、色の鮮やかさ、和紙を通したライトの明るさなどを理解する。</p> <p><b>技</b>表現方法に応じて前学年までの材料や用具の経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして目的に合わせて表し方を工夫して表す。</p>	<p><b>発</b>自宅の一室を思い描いた雰囲気のある場所にするという目的のもとに、明かりを灯して感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。</p> <p><b>鑑</b>明かりを灯すなどして自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。</p>	<p><b>態</b>自宅の一室を思い描いた雰囲気のある場所にするため、主体的にランプシェードをつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p> <div data-bbox="1101 1780 1428 2027" style="text-align: center;"> </div>

### 3 題材について

本題材では、これまでの材料や用具の経験を生かし、光の性質を利用して〇〇な雰囲気の部屋をつくることを主題にランプシェードを製作する。本題材を通して、目的や用途に合わせて工夫してつくる力を育む。実際に使用する場面や場所を具体的にイメージさせることによって、より思いが生まれやすく、どのようなランプシェードをつくりたいかという思いも自然と生まれてくるのではないかと考える。さらに自分だけでなく家族が暮らす家で使用するため、「他者」の存在を意識させることが大切となる。使いやすさやその空間との調和など、様々な視点から工夫して作品をつくることができると考えた。自分も家族もそのランプシェードがあることで、より家が居心地よく感じるようなデザインを考えさせることを目的とし、ただ思いついたままつくるのではなく、目的をもった製作活動になるよう指導していく。

### 4 題材の計画（全6時間）

時	学習活動	評価規準・評価方法					指導上の留意点
		○指導に生かす評価		◎記録に残す評価			
		知識	技能	発想 構想	鑑賞	態度	
1	・ランプシェードと出会い、明かりを味わう。 ・自分の家に飾るとしたら、どのようなランプシェードがよいか考える。 ・ランプシェードの骨組みの仕組みを理解する。	○		○			・自分の家のどこにランプシェードを置くかを具体的に考えさせる。 ・ランプシェードを置くことで家がどのように変わるか考えさせる。 ・様々な骨組みの作り方を動画で撮影しておき、児童が自分でその動画を見て製作できるようにする。
2 3 4 5	・自分の思いに合ったランプシェードを工夫してつくる。		◎ 観察 対話 作品 WS	◎ 観察 対話 作品 WS		◎	・様々な材料を用意し、試しながらつくることのできるようにする。 ・暗幕スペースをつくり、明かりの見え方を試しながらつくることのできるようにする。 ・自分の思いに立ち返ることができるように、ワークシートを見返す時間を設定する。
6	・作品の鑑賞会を行う。 ※事後：自宅に作品と1人1台端末を持ち帰り、実際にその場所に置いてみて写真を撮影する。	◎ 観察 対話 作品 WS			◎ 観察 対話 作品 WS	◎ 観察 対話 作品 WS	・明るい場所と暗くした場所と比較して鑑賞し、見え方の違いに気付けるようにする。

### 5 材料や用具（環境づくり）

和紙、お花紙、カラーセロハン、紙バンド、竹ひご、段ボール、工作用紙など



隣の教室に「ミニ暗室」を設置。どのような明かりになっているかを確認できる。






教室内に「材料コーナー」を設置。必要なものは、自分で取りに行く。友達の様子も自然と目に入ってくる。



## 6 本時の学習（3時間目）

(1) 本時の目標 「明かりで部屋を〇〇な感じにしたい」という思いを基にして、自分だけのランプシェードをつくる  
ことができるよう、光の感じを確かめながら工夫して表す。

### (2) 本時の展開

時	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆主な評価・【 】評価方法
出 合 う 5 分	<p>1 題材の内容を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明かりがあることによって、部屋の雰囲気が変わることを実感的に理解する。</li> </ul>  <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>○例として、部屋にいくつかの種類 of 明かりを置いた時の動画を見せ、明かりを置くことによって部屋の雰囲気が変わることを実感させる。</p> <p>○児童に問いをもたせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p><b>ねらい：部屋を「〇〇な感じ」にしちゃう、とっておきのランプシェードを考えて、たくさん試して工夫しながらつくってみよう。</b></p> </div>		
追 求 す る 30 分	<p>3 道具の使い方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙の貼り方等について、動画を見て確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【先生の用意したヒント動画】</p>  <p>「こんな使い方も、できるかも？」</p> </div>  <p>4 表したいことに合わせて工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な道具・材料を用意し、自身の思いに合うように工夫してつくる。</li> </ul> 	<p>○クラウド上には、和紙の貼り方以外の「<b>ヒント動画</b>」も公開しておき、児童が自身の必要性に応じて視聴できるように事前に用意しておく。</p> <p>○隣の教室に設置した「<b>ミニ暗室</b>」でどのように見えるか確認しながら取り組めるように用意しておく。</p> <p>◆発想・構想【観察・対話・作品・WS】 ◆技能【観察・対話・作品・WS】</p>
ま と め る 10 分	<p>5 自分の作品の写真を撮り、スライドに貼り付け、本時を振り返る。 ⇒「<b>デジタルポートフォリオ</b>」</p>  <p>6 片付けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>今日はここまでできたぞ! 来週はどうしよう?</p> </div>	<p>○毎時間の記録を撮り、自分の試行錯誤の跡を振り返ることができるようにする。可能なら、一言頑張ったことをメモしておくように声をかける。</p>

## 7 成果と課題

### (1) 成果

明かりの感じを味わう時間を十分に確保することで、児童一人一人が主題(思い)をもつことにつながった。様々な学習環境の工夫を取り入れたことで、題材全体を通して「どうすればいいかわからない」という困り感をもつ児童が見られなかった。製作が早い児童は、次々に作品を生み出し、一つの作品にじっくり取り組みたい児童は、何度も見え方を確かめ、質を高め続けていた。

### (2) 課題

図画工作科の授業は、年間時数も多くないため、次の図画工作科の授業まで日が空いてしまうことがある。それまで自身がどのような思いでつくっていたかが曖昧になってしまうことがあるため、ワークシートや1人1台端末などで再度確認させる場面を確保する必要がある。

## 8 児童の作品

### (1) 児童A

1. ランプの明かりを見てどんな「感じ」がしましたか？

おちついた感じ(イミネーション)

2. ランプシェードを置いて、部屋をさらにどんな感じにしたいですか？

おちつくな感じ

自分がつくるランプシェードは

おしゃべりな感じなランプシェード

3. ランプシェードを置きたい場所は？

場所	部屋の見取り図
自分の 部屋	

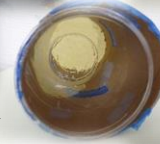
ぼく・私の部屋にあるランプシェードの様子

実際に置いてみた様子



主題  
(思い)

下から見ると  
こういう形



完成作品

作品名	夜のにぎやかな街
その作品名にした理由	まわりに水のわきをはり、上には黄色と白色の紙を張り、白と黒の紙を貼りました。また、ライトがカラフルなのでパーティーしているように見えたのでにぎやかな街と名付けた。
工夫したところ	ついに、なかに小さい穴を付けて、まわりに、こい色に
仕組みの使い方	人形の和紙を張り、わざと色があまりはいるないようにしました。また、上の月は、黄色の紙で、白もよりの色が多すぎないように工夫しました。

ぼく・私の部屋にあるランプシェード

ここに文字入力  
ができます。

つくったランプシェードを部屋に置くと部屋はどんな感じになりましたか？

落ち着いて静かな感じになりました。また、ごちゃごちゃ(色んな形や色をしている物がたくさんある統一していない)している感じの机も統一している感じになりました。

部屋にかざった感想(おうちの人の感想もあれば書きましょう。)

机がきれいに見えてこのランプシェーターが気に入りました。

### (2) 児童B

1. ランプの明かりを見てどんな「感じ」がしましたか？

ねむ前の「夜」の感じ... おしゃべり

2. ランプシェードを置いて、部屋をさらにどんな感じにしたいですか？

おしゃべりな感じ

自分がつくるランプシェードは

おしゃべりでインドアなランプシェード

3. ランプシェードを置きたい場所は？

場所	部屋の見取り図
げんか か 自分の部屋	

主題  
(思い)

〇〇な感じに  
なっているかな？



明かりの感じを確認する姿



完成作品

実際に置いてみた様子

1. 自分の作品についてふりかえりましょう。

作品名	星のようなノート
その作品名にした理由	まず「星」は色は青と黄色にして星と星のように貼ったからです。ノートはもともとノートの形になっているから星ノートと作品名にしました。
工夫したところ	貼ったところはノートの部分をこいてきれいにしてもおしゃべりな感じ、他には、色も通るようにノートのこりに穴をあけてみました。

ぼく・私の部屋にあるランプシェード

ここに文字入力  
ができます。

つくったランプシェードを部屋に置くと部屋はどんな感じになりましたか？

もっとおしゃべりでかわいくなった！  
夜はランプシェードだけ光っていてもきれいな！

部屋にかざった感想(おうちの人の感想もあれば書きましょう。)

いつもと部屋の雰囲気が変わってかわいくな！  
とっていました。